

# は種前(床土混和)・は種時処理専用剤



## 水稲用殺虫殺菌剤

powered by  
RYNAXYPYR®  
ACTIVE INGREDIENT

農林水産省登録  
第22824号

# ファースト オリゼ<sup>®</sup> フェルテラ<sup>®</sup> 粒剤

クロラントラニリプロール・プロベナゾール粒剤

は種前  
(床土混和处理)  
に適用拡大

殺虫剤分類	28
殺菌剤分類	P2

フェルテラ<sup>®</sup>、RYNAXYPYR<sup>®</sup>はFMC Corporation またはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標

## は種と同時にいもち病・害虫の<sup>ダブル</sup>W防除。

### ファーストオリゼフェルテラ粒剤の特長

- 経済性** — 「は種前(床土混和)」または「は種時」に処理するため、こぼれ落ちがなく、薬剤が無駄になりません。
- 効果** — 均一に処理されるため、撒きむらがなく、薬効が安定します。
- 省力性** — 忙しい田植時の労力を軽減できます。



は種と同時にいもち病・害虫のW防除。

# ファーストオリゼ フェルテラ<sup>ダブル</sup> 粒剤

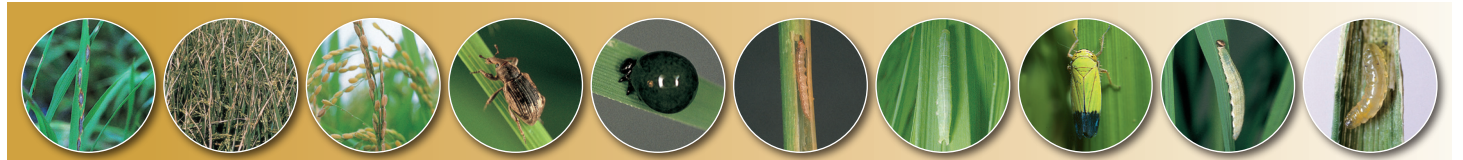
有効成分：クロラントラニプロール……0.75% プロベナゾール……20.0% 人畜毒性：普通物※ ※毒劇物に該当しないものを指している通称

## ファーストオリゼフェルテラ粒剤の特長

- 1 「は種前(床土混和)」または「は種時」処理で水稻の主要病害虫の同時防除が可能  
「は種前(床土混和)」または「は種時」処理により水稻の主要病害虫であるいもち病、ニカメイチュウ、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ等を同時に防除できます。
- 2 高い省力性  
「は種前(床土混和)」または「は種時」処理で主要病害虫に対して長期間にわたって高い効果を示しますので、省力的、経済的です。
- 3 ユニークな作用性  
いもち病防除剤「ファーストオリゼ」はイネの病害抵抗性を誘導し、安定した防除効果が長期間持続します。また、各種薬剤耐性菌にも有効です。「フェルテラ」は主要な水稻害虫に対して低薬量で優れた効果を発揮します。更に、新しい作用性で既存殺虫剤の抵抗性水稻害虫に対しても高い効果を発揮します。

## 適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネドロオウムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗培土に均一に混和する。	1回	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)
	育苗箱の床土に均一に混和する。						
	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ フタオビコヤガ ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ イネツトムシ	高密度に は種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~100g)	は種時 (覆土前)	1回	育苗箱の床土に均一に散布する。	1回	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)
	もみ枯細菌病 白葉枯病 イネヒメハモグリバエ						
	いもち病 もみ枯細菌病 白葉枯病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ フタオビコヤガ ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ イネツトムシ イネヒメハモグリバエ						



いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ ツマグロヨコバイ イネツトムシ イネヒメハモグリバエ

## 効果薬害等の注意

- 本剤を育苗箱の床土に混和又は、育苗培土に混和して使用する場合は、薬害が生じることがあるので、下記の注意事項を遵守して下さい。
- ①山土、畑土などを使用する場合は、十分に乾燥させてから使用して下さい。
- ②粒剤を混和した育苗培土、床土は高温多湿での保管を避け、すみやかに使用して下さい。
- ③粒剤が破碎されるような過度な混和は避けて下さい。
- 育苗培土に混和する場合は、覆土及び床土として使用して下さい。
- 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行って下さい。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整して下さい。
- 本剤処理後の低温で生育抑制を生じるおそれがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめて下さい。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがありますが、その後回復するので通常の管理を維持して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後に田面が露出したりしないよう水管理に注意して下さい。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多田の場合には使用を避けて下さい。
- 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用を避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は圃場や水路などに放置せず、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

## 安全使用上の注意

- 誤食などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。
  - 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
  - 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
  - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
  - かぶれやすい体質の人は、作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
  - 夏期高温時の使用を避けて下さい。
- 魚毒性等…河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい(甲殻類)。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 保管…直射日光をさげ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

お問い合わせ／ご注文は